

展覧会企画案

「いっそもダンなブックデザイン」展

*

2014年8月

山鬼文庫

金沢市桜町 5-27 / tel. 076-254-6596

<http://www.sankibunko.com/>

(開催趣旨)

いまや印刷は徐々に陰りゆくメディアになりつつあるのでしょうか。確かにますます便利になるデジタルワールドは紙に印刷された本や雑誌を無用なものにしてしまうのかもしれない。いんや！そうではないと山鬼文庫は主張したいのです。

そこで、印刷文化が光り輝いていた 1920 年代から戦後まで、山鬼文庫所蔵から選りすぐりの作品をお目につけようと思います。装丁の魅力を感じて頂くために、できるだけ本物に触れて頂ける展示にしたいと存じます。夏の昼下がりを日本のモダンミュージックと合わせて、いにしへのブックデザイナーたちとごゆるりとお過ごしく下さいませ。

(展示作品)

中川一政 / 東郷青児 『小学生全集 美術と図画』 1929
谷崎純一郎 / 東郷青児 『卍』 1946
ローブシン / 柳瀬正夢 『黒馬を見たり』 1924
ピアトニツキー / 柳瀬正夢 『革命の陣頭に立ちて』 1922
/ 岡本一平 『一平全集』 1929-30
室生犀星 / 恩地孝四郎 『性に目覚める頃』 1920
山本鼎 / 恩地孝四郎 『日本児童文庫 世界工芸美術物語』 1930
/ 恩地孝四郎 『明治大正文学全集』 1930
岡本かな子 / 岡本太郎 『生々流転』 1940
斎藤史 / 岡本太郎 『春寒記』 1940
飯沢匡 / 伊藤憲治 『婦人朝日』 1951
松本清張 / 伊藤憲治 『点と線』 1960
谷川雁 / 粟津潔 『原点が存在する』 1963
/ 粟津潔 『週刊アンボ』 1969
古賀政男 / 河野鷹思 『男の純情』 1936
西条八十 / 河野鷹思 『蠟人形』 1938
河野鷹思 / 河野鷹思 『タアキイ舞台画譜』 1935
/ 河野鷹思 『NIPPON』 2、14 16 号、1938

(要旨)

日本にモダンの光が輝いていた1920年代から戦後まで、山鬼文庫所蔵から選りすぐりのブックデザインをお目にかけます。日本のモダンミュージックと合わせて、お過ごしくださいませ。

今回は1920年代から戦後間もなくの1950年代までのブックデザインから、モダン志向の作品を山鬼文庫所蔵品から選んでご紹介します。展示は大きく次の五つのテーマごとに並べました。時代の新しい息吹を一身に体現した本、雑誌、パンフレットたちをご覧ください。

< 建築 >

『新興独逸建築作品集』1932

アサヒグラフ編『今日の住宅』1935

< グラフィック >

高原会『ポスター』1921

里見宗次『世界と我等』1936

伊藤憲治『婦人朝日』1951

< 興行 >

河野鷹思『新興戯曲』1929

吉田謙吉『舞台装置者の手帖』1930

有島生馬『小山内薫全集』1929

< 文学 >

柳瀬正夢『黒馬を見たり』1924

玉村方久斗『真理の春』1929

村山知義『エゴール・ブルイチョフ』1934

岡本太郎『生々流転』1940

< 社会 >

今和次郎『モデルノロジオ』1930

大宅壮一『モダン層とモダン相』1930

高岡徳太郎『近代大阪』1932

川西英『アメリカ博覧会』1950

なお、会場に流れている音楽は次の音源から抜粋しています。

- ・『日本のジャズ・ソング～戦前篇・ジャズシンガー・トップレディース・トップガイズ～』
- ・吉田日出子『上海バンスキング・FIRST』